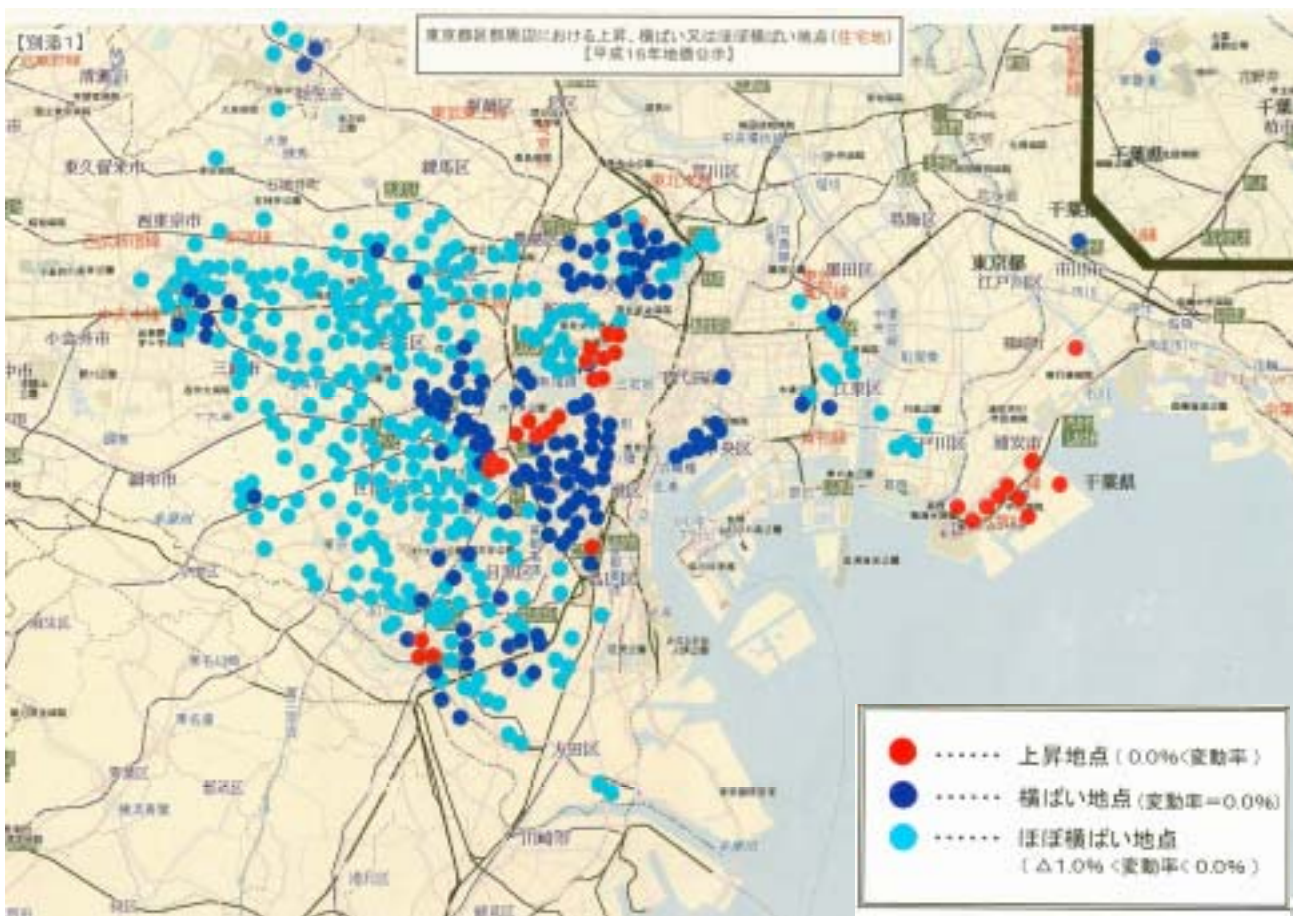


## 第2節 地価及び取引の動向からみた土地市場の変化

### 1 地価の動向

土地市場が、利便性・収益性により価格が形成される市場へと構造的に変化している中で、経済に回復の兆しがみられること等とあいまって、地価も、東京都区部及びその周辺地域においては、上昇や横ばいの地点が増加し、下げ止まりの傾向が強まっている。この傾向は、名古屋市、札幌市、福岡市にも一部現れてきており、地価の動向に変化の兆しもみられる。

しかし一方で、地方圏については下落傾向が継続している。



名古屋市(商業地)



札幌市(住宅地)



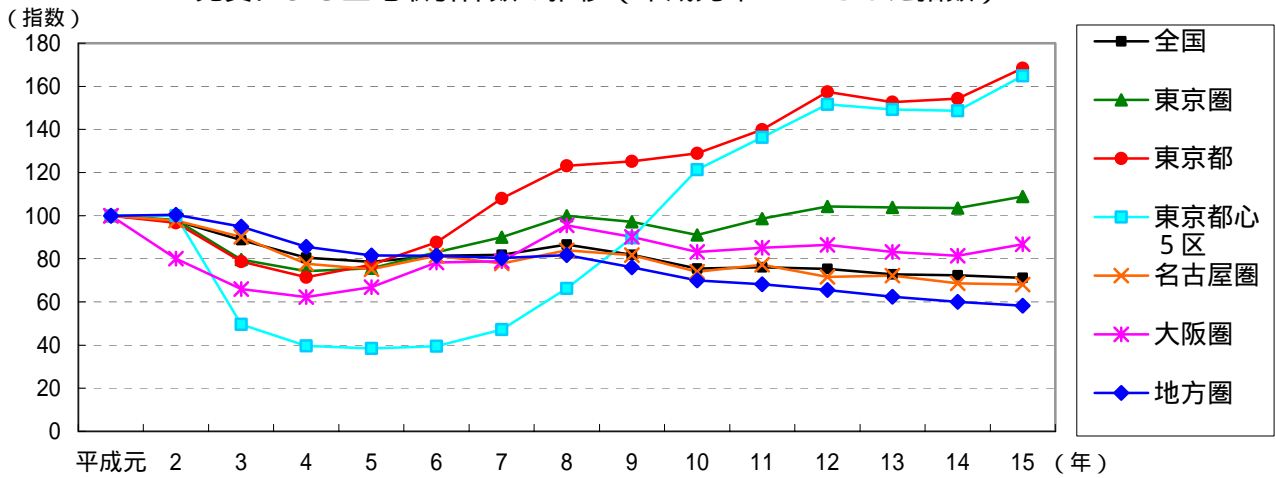
福岡市(商業地)



## 2 土地取引の状況

ここ数年、東京の都心部等で土地取引が活発になっている。

売買による土地取引件数の推移（平成元年 = 100とした指数）



資料：国土交通省調べ。

注1：土地取引件数は、売買による土地に関する所有権移転登記の件数としている。

注2：地域区分は次による。

東京圏：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県。

都心5区：千代田区、中央区、港区、新宿区、渋谷区。

大阪圏：京都府、大阪府、兵庫県。

名古屋圏：愛知県、三重県。

地方圏：上記以外の地域。